

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	専門家庭・保育基礎	単位数	2単位	2年・生活文化科
使用教科書	保育基礎（実教出版株式会社）		副教材等	なし

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	---

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	1章 子どもの保育 1 保育の意義 2 保育の方法 3 保育の環境	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期は生命の保持が図られ、安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより、発達に必要な体験を得ていくことを理解する。 自発的な遊び、信頼関係を築くこと、保育者の役割、現代の子どもや子育て家庭を取り巻く問題等から適切な保育環境を考える。 	4 5 6 7	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察
	2章 子どもの発達 1 子どもの発達の特性 2 子どものからだの発達 3 子どもの心の発達	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達の特性や過程を体系的・系統的に理解し、乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について考える。 発達の順序性、連続性、個人差、発達時期を知る。母子健康手帳の活用。 人間関係の発達は、愛着の発達が影響することを知る。 	6 7	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察
第2学期	3章 子どもの生活 1 子どもの生活と養護 2 生活習慣の形成 3 健康管理と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠、食事、遊びなどから、子どもの生活の特徴を理解する。 基本的な生活習慣 食事、衣服の着脱、睡眠、排泄、生活など 社会的な生活習慣 人との関わりやきまり 日常の健康観察、健康診査の受診、予防接種 子どもの事故の実態や原因を知り、事故防止と安全教育の必要性を理解する。 適切な生活習慣の形成と健康と安全管理に関する保育の技術を身に付ける。 	9 10 11 12	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 製作物	ワークシート 観察
	4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場 2 子どもの遊びと表現活動	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの文化、遊びと表現活動について理解する。 子どものための文化活動、児童文化財、児童文化施設の重要性を知る。 現代の子どもの遊びの役割や問題点について考える。 子どもの健やかな発達を促すために必要な保育の技術を身に付ける。 	9 10 11 12	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 製作物	ワークシート 観察
第3学期	5章 子どもの福祉 1 子ども観 2 子どもの福祉 3 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童観は変遷し、個人として尊重する考え方に変わってきた経緯を理解する。 子どもの福祉の理念や制度、施設の役割を理解する。 	1 2 3	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	専門家庭・ファッション造形基礎	単位数	4単位	2年・生活文化科
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)	副教材等	家庭科問題集基礎編 (全国高等学校家庭科教育振興会)	

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 被服の構成、被服材料の種類や特徴及びその選択、洋服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、能率的に製作する能力と態度を身につける。</p> <p>2. 被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッション造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する能力を養う。</p> <p>3. 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を</p>
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	4章 和服の製作 1節 製作の基礎 ・和服とは ・和服の素材 ・製作のための用具 2節 ひとえ長着の製作 ・寸法決め ・裁断 ・しるしつけ ・縫う ①そで縫い ②背縫い ③肩当てつけ ④おくみつけ ⑤わき縫い ⑥すそくけ	<p>・和服に特徴的な形と各部の名称、適する材料を知る。</p> <p>・製作に必要な用具を理解し、その取り扱い方を確認する。</p> <p>・運針やくけ方(耳ぐけ、三つ折りぐけ、本ぐけ)を理解し、身につける。</p> <p>・裁ち切り寸法を決め、総用布を見積もることができる。</p> <p>・柄合わせの必要な場合の折りたたみ方を理解する。</p> <p>・和服製作のしるしつけを理解し、正確につけることができる。</p> <p>・作業順序にしたがって縫い進める。</p> <p>・針目、各箇所(縫い方や縫い代のしまつ)の仕方など、和服の縫製に関する基礎的な事項を理解する。</p>	4	定期考査 製作物	定期考査 製作物	ワークシート ノート
			5	定期考査 製作物	定期考査 製作物	ワークシート ノート 実習への取り組み
			6	定期考査 製作物 ワークシート	定期考査 製作物 ワークシート	振り返りシート 実習への取り組み ノート
			7			
第2学期	3章 洋服の製作 2節 製作 ・シャツブラウスの製作 ・裁断、しるしつけ ・縫う ①身ごろづくり ②えりつくりとえりつけ ③そでづくり ④そでつけ、わき縫い ⑤すそのしまつ	<p>・シャツブラウスに適した被服性能を考慮し、適切な被服材料を選択できる。</p> <p>・上半身を被う衣服の構成と動作への適応について理解する。</p> <p>・えりやそで、切り替えや着用のしかたにより、シャツブラウスのさまざまなデザインがあることを知り、それぞれに応じた縫製のしかたを理解する。</p> <p>・製作を通して洋服の縫製に関する基礎的な事項を理解し、縫製技術を習得する。</p>	9	定期考査 製作物	定期考査 製作物	振り返りシート 実習への取り組み
			10	定期考査 製作物 ワークシート	定期考査 製作物 ワークシート	ワークシート 実習への取り組み
			11	定期考査 ワークシート 製作物	定期考査 ワークシート 製作物	ワークシート 振り返りシート 実習への取り組み
			12			
第3学期	⑥仕上げ ・着装 4章 和服の製作 2節 ひとえ長着の製作 ・縫う ⑦かけえり・えりつけ ⑧そでつけ ⑨仕上げ ・着装 ・たたみ方	<p>・ボタン穴の位置と大きさを理解し、ボタンを正しい位置につける。</p> <p>・作業順序にしたがって縫い進める。</p> <p>・針目、各箇所(縫い方や縫い代のしまつ)の仕方など、和服の縫製に関する基礎的な事項を理解する。</p> <p>・浴衣を着用し、基本的な帯の結び方で着付けをすることができる。</p> <p>・和服のたたみ方を理解し、たたむことができる。</p>	1	定期考査 製作物	定期考査 製作物	振り返りシート 実習への取り組み
			2	定期考査 製作物 ワークシート	定期考査 製作物 ワークシート	ワークシート 実習への取り組み
			3	定期考査 ワークシート 製作物	定期考査 ワークシート 製作物	ワークシート 振り返りシート 実習への取り組み

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	専門家庭・ファッション造形	単位数	2単位	2年・生活文化科
使用教科書	ファッション造形（実教出版）	副教材等	家庭科問題集 被服編 （全国高等学校家庭科教育振興会）	

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. デザインや着用目的に応じた被服材料の選択や被服構成、美しく仕上げる縫製技法を理解し、関連する技術を身に付ける。</p> <p>2. デザイン・被服材料・被服構成や縫製に関する課題を発見し、ファッション製品の製作を担う職業人として、被服製作に関するより高度な技術を活用し、計画に沿って能率的に製作するとともに、創意工夫やアイデアを生かして、よりよいものを作り出すことによって課題を解決する力を養う。</p> <p>3. 衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	4章 和服の製作 1節 製作の基礎 ・和服の種類 ・和服地 2節 簡単な和服の製作 ・寸法決め ・裁断 ・しるしつけ ・縫う ①ひもづくり ②そでづくり ③背縫い ④すそ縫い ⑤そでつけ ⑥わき縫い ⑦縫いしろのしまつ ⑧えり下くけ ⑨えりつけ、えり先の しまつ、えりくけ ⑩ひもつけ 1章 衣服とデザイン 2節 衣服のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の種類や用途について学ぶ。 ・和服に特徴的な形と各部の名称、適する材料を知る。 ・和服地のいろいろな文様を知る。 ・じんべいの製作を通して、和服の構造を理解する。 ・柄合わせの仕方を理解する。 ・和服製作のしるしつけを理解し、正確につけることができる。 ・作業順序にしたがって縫い進める。 ・針目、各箇所縫い方や縫い代のしまつの仕方など、和服の縫製に関する基礎的な事項を理解する。 ・基本プロポーション、ポーズのバリエーション、彩色方法などを理解する。 ・着装図の描き方を身に付け、表現できる。 	4	定期考査	定期考査	ワークシート ノート
			5	定期考査 製作物	定期考査 製作物	ノート 実習への取り組み 振り返りシート
			6	定期考査 製作物	定期考査 製作物	実習への取り組み ノート
第2学期	3章 洋服の製作 ・ワンピースドレスの製作 ・デザイン決め ・裁断、しるしつけ ・縫う ①身ごろづくり ②えりぐりのしまつ ③スカートづくり ④ウエストはぎ ⑤ファスナーつけ ⑥そでづくり ⑦そでつけ ⑧仕上げ ・着装 ・共同ドレスの製作 ・デザイン決め	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレス製作の基礎を学ぶ。 ・上衣と下衣が一連になった洋服のつくりを理解する。 ・上衣と下衣の構成によって切り替えのバリエーションがあり、多様なデザインがあることを知る。 ・製作を通して洋服の縫製に関する基礎的、発展的な事項を理解し、縫製技術を習得する。 ・グループで製作するドレスのテーマを考え、イメージを着装図に表現する。 ・適する材料を選択し、縫製の準備をする。 	9	定期考査 ワークシート 製作物	定期考査 ワークシート 製作物	ワークシート 実習への取り組み 振り返りシート
			10			
			11	定期考査 製作物	定期考査 製作物	実習への取り組み ノート
第3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・裁断、しるしつけ ・縫う ・仕上げ 5章 服飾手芸 ・刺繍 2章 ファッションショーの つくり方 ・ファッションと ファッションショー ・ファッションショーの 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで身に付けた縫製技術を生かし、グループで協力しながらドレスを完成する。 ・ビーズやスパンコールを組み合わせ、ドレスの着装に合う装飾について知り、製作 ・3年次に向けて、学んできたことの成果を発表する場としてのファッションショーについて理解する。 	1			
			2	定期考査 製作物	定期考査 製作物	振り返りシート 実習への取り組み ワークシート
			3	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	専門家庭・フードデザイン	単位数	4単位	2年・生活文化科
使用教科書	フードデザイン 新訂版（実教出版）	副教材等	2022生活学Navi（実教出版） 新調理実習テキスト（開隆堂出版） 家庭科問題集基礎編・食物編（全国高等学校家庭科教育振興会）	

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養摂取目標を理解するとともに、年齢別、性別、生活活動強度別での栄養摂取量の違いを理解して、家族の食事計画を作成できる。 ・年中行事と食事および日本の伝統食についての知識と技術を習得し、後世へ伝承できるようにする。 ・日本の食生活の現状と課題を把握するとともに、食生活を取り巻く環境の変化を知る。 ・調理技術を習得するだけでなく、テーブルコーディネートについても学ぶ。
---------	---

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 10節	10節 ライフステージと栄養計画 ・乳児期～高齢期の栄養計画	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査	レポート	レポート、観察
	第3章 食品の特徴・表示・安全 1節	1節 食品の特徴と性質 ・穀類～かんでん・ゼラチン		定期考査	レポート	観察
	○調理実習 第4章 調理の基本 2節 第6章 フードデザイン実習	・日常食の調理 ・基本の切り方 ・基本の調理・調味		定期考査	レポート	レポート、観察
第2学期	第3章 食品の特徴・表示・安全 1節～4節	1節 食品の特徴と性質 ・嗜好食品～特別用途食品・保健機能食品 2節 食品の生産と流通 3節 食品の選択と表示 4節 食品の衛生と安全	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査	レポート	レポート、観察
	○調理実習 第4章 調理の基本 2節～3節 第6章 フードデザイン実習	・日常食の献立作成と調理		定期考査	レポート	観察
第3学期	第5章 料理様式とテーブルコーディネート 1節～2節	1節 料理様式と献立 ・日本料理 ・西洋料理 ・中国料理 2節 テーブルコーディネート	1 ・ 2 ・ 3	定期考査	レポート	レポート、観察
	第7章 食育 1節 ○調理実習 第4章 調理の基本 2節～3節 第6章 フードデザイン実習	1節 食育の意義と推進活動 ・行事食 ・供応食の献立作成		定期考査	レポート	観察

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	食文化	単位数	2単位	2年・生活文化科
使用教科書			副教材等	新調理実習テキスト（開隆堂出版） 2022生活学Navi（実教出版）

1 学習の到達目標

学習の到達目標	食品、献立、調理、様式別料理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を養う。 食生活の変遷と文化、日本の食文化などに関する知識と技術を習得させ、食文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を養う。
---------	---

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	食文化とは 食事の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> 食文化を学ぶ意義 市場にあふれる食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。 地球環境の保全、生物連鎖と食生活との関わりについて理解し、環境保全、資源の有効活用の意識を高め、日常の生活行為を見直す。 	4	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート
	食品の特徴	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな食品の栄養的、食料的な特徴や調理上の性質を理解し食事計画や調理に生かすことができる。 	5	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
	調理の目的	<ul style="list-style-type: none"> 調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から理解を深める。 調味、加熱、その他の調理操作（切る）が、料理の出来上がりに大きく影響することを実習を通して観察し理解する。 	6	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
			7	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
第2学期	日本の食文化 ・郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> 日本の郷土料理について知識を深める。 日本の食文化と風土について理解する。 	9	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート
			10	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
	日本の食文化 ・日常食、行事食	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食文化の歴史的な側面を考える。 日常食と行事食との違いについて理解し、行事食が生活の節目としての役割についても理解する。 郷土食文化の伝承の重要性について理解する。 	11	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
			12	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
第3学期	日本の食文化 ・日本料理様式の発展	<ul style="list-style-type: none"> 本膳料理、懐石料理、会席料理などの様式について、その流れや特徴を理解する。 日本料理の基本的な食事の作法を身につける。 	1	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート
			2	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子
	世界の食文化	<ul style="list-style-type: none"> 世界の主な食文化圏とその料理の特徴を理解し、歴史と食文化圏との関わりについて理解する。 	3	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	振り返りシート 実習の様子

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	専門家庭・生活文化教養	単位数	1単位	2年・生活文化科
使用教科書	なし		副教材等	自作教材

1 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 日本の文化と伝統や地域に関する関心と理解を深めるとともに、それを大切にする心を育て、教養を身につける。 2. 生活を総合的に捉え、知識の習得、体験的な実習をとおして広い領域にわたって応用できる能力と態度を身につける。
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	生活文化教養を学ぶにあたって	生活文化教養を学ぶ意義を理解する		定期考査	レポート	レポート、観察
	日本の文化	日本の文化や暮らしと暦について学ぶ	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査	レポート	観察
	季節の行事としきたり	季節の行事としきたりについて学ぶ(春～夏)		定期考査	レポート	レポート、観察
第2学期	季節の行事としきたり	季節の行事としきたりについて学ぶ(夏～秋)		定期考査	レポート	レポート、観察
	日常生活のしきたり	和室のマナーや贈り物の作法について学ぶ ・和室での立ち居振る舞い ・生活の中の書	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査	レポート	観察
	季節の行事としきたり	季節の行事としきたりについて学ぶ(秋～冬)		定期考査	レポート	レポート、観察
第3学期	季節の行事としきたり	季節の行事としきたりについて学ぶ(正月)		定期考査	レポート	レポート、観察
	季節の行事としきたり	季節の行事としきたりについて学ぶ(春)	1 ・ 2 ・ 3	定期考査	レポート	レポート、観察
	日常生活のしきたり	日本料理の食事作法や箸づかいについて学ぶ		定期考査	レポート	観察